様式３(2010.09改)

作成日　平成27　年　3　月26　日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372002382
事業所名	グループホーム　さっちゃんの家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入しており、回覧板から地域の情報を得ている。中学校の体験学習が、例年より増えて複数校より来訪している。地域のボランティアのオカリナ、ギター、ピアノ演奏は継続して来てもらっている。夏祭りの盆踊りに参加するなど、地域との交流を深めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	２ヵ月毎に６回開催され、主な出席者は民生委員、地域包括支援センター職員、地区住民などであり、民生委員より地域行事の情報を教えてもらっている。会議は、利用者の状況や活動内容や意見交換を行っている。ホーム代表は、介護保険の制度についての説明を、法改正の折には話している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	市町村とは主に、電話やＦＡＸで連携を取っている。運営推進会議の議事録や報告書もＦＡＸで報告している。市の介護相談員は、毎月来訪し利用者の様子を見てもらっている。市主催の研修会や年に３回開催される事業者連絡会に出席し、情報交換の場としている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	家族の来訪時には、必ず声をかけ意見や要望を聞くように心がけている。それらを職員間で申し送りや会議で共有し話し合い、改善できることは対応している。「五ツ星のおたより」では予定や家族へのお願い事を、「さっちゃんだより」は写真付きで利用者の日常の様子を毎月発行している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎

１.外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２.外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目２、３、４については１つ以上、外部評価項目６については２つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。